

平成29年度 延岡市立島野浦中学校 学校評価書

4段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待どおり 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

学校経営 ビジョン	島野浦の特徴（人・もの・こと）を生かした教育活動を展開し、社会で通用する力、社会で大切にされる資質をもった生徒を育成する。
--------------	---

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組	自己 取組別	関係者 評価	結果の考察・分析および改善策等
知育	【重点目標】 確かな学力の定着と主体的な学習の推進 【目標達成のための手段・具体的な取組】 1 わかる・できる授業の実践～確かな学力を向上させるための授業改善（授業力向上を目指した一人一研究の取組とICTの活用と工夫）	○ 全職員が1回以上の研究授業の実施。 ○ 生徒・保護者アンケートで「わかる」「できる」と答える生徒6割以上。 生徒：84.6% 保護者：85.7%	○ 主題研究を推進し、諸検査の分析結果をもとに、教科の指導方法の工夫改善を行い、授業力の向上を図る。	4	3	○ 授業改善により、生徒の満足度も上がった。 ○ 保護者アンケートの結果から、まだ、学力は不十分であると思われるため個に応じた指導をさらに行っていく。 ○ 家庭学習の在り方を生徒に十分指導すると共に、保護者との連携を図り、生徒の進路達成に向けた場として有効に活用できる体制をつくる。 ○ 家庭で読書をしていないことが保護者アンケートよりわかったので、家庭での読書の推進を啓発していく。
	2 徹底した個別指導～主体的な学習を育む「SSタイム」と「島中学びたいIME」の実践（校時程を工夫し、各教科の基礎・基本の定着を図る。）	○ 地区・県単位のテストで地区平均点以上。 ○ 生徒・保護者アンケートで達成感、充実度6割以上。 生徒：92.3% 保護者：76.9%	○ 「SSタイム」「島中学びたいIME」を見直し、基礎基本の確実な定着を図る。 ○ 教育相談等を通して、生徒が目的意識をもち、意欲的に取り組めるようにする。	3		
	3 学力の定着を図るための家庭学習の見直し～宿題プリントから、自学自習への転換	○ 充実度6割以上。 生徒：85.7% 保護者：57.1%	○ 主題研究を推進し、個に応じた取組（現状から改善）への転換を図る。	2		
	4 読書をする習慣の定着～朝の読書の時間朝の読み聞かせの時間の充実	○ 生徒・保護者アンケートで達成感、充実度6割以上。 生徒：100% 保護者：50%	○ 朝の読書と読み聞かせの時間の設定を行うとともに、意欲的に取り組むように工夫をする。	2		
徳育	【重点目標】 心の教育の充実 【目標達成のための手段・具体的な取組】 1 あいさつや基本的な生活習慣の徹底～「語先後礼」「島中授業の5原則」の実践	○ 生徒・保護者アンケートで実践度6割以上。 生徒：92.3% 保護者：78.6%	○ 日常の学校生活を通して、全職員が一貫した指導を行う。	3	4	○ 校内でのあいさつや生活習慣は問題はないが、校外や家庭でのあいさつ等の指導を今後も継続していく。 ○ 必要なスキルを生徒自身にも考えさせ道徳の時間や学校生活においてスキルを獲得する教育活動を意図的に組む。
	2 道徳教育の充実～ライフスキルを育む道徳の時間を工夫する。	○ 生徒・保護者アンケートで達成感、充実度6割以上。 生徒：100% 保護者：92.9%	○ 道徳の時間等で計画的に社会で必要な資質や能力（ライフスキル）を育む。	3		

項目	本年度の重点目標と 目標達成のための手段	具体的な数値目標等	具体的な取組	自己	関係者	自己評価
				取組別		
体育 食育	【重点目標】 体力向上と食育の充実 【目標達成のための手段・具体的な取組】 1 保健体育や部活動での体力・競技力の向上～生徒数減少を見据えた体力向上プランの実施。	○ 体力テストにおいて、前年度の結果を上回る。 ※生徒の握力低下	○ 体力テストでの課題に応じた体力トレーニングを工夫し、技能の上達や体力向上に努める。 追加：握力向上のため、各教室に器具を置いた。	3	4	○ 保健体育の授業でトレーニングの導入や部活動の推進を図り、基礎的な体力向上に努める。 評議員意見 ○ 駅伝大会であきらめずに最後まで走る姿が素晴らしかった。 ○ 基礎体力は付いていると思う。
	2 計画的な食育活動と「弁当の日」の充実	○充実度6割以上。 生徒・保護者：100%	○ 弁当の日を年間2回実施し、食の自立への関心を高める。	3		
その他	【重点目標】 島野浦小学校や地域との連携 【目標達成のための手段・具体的な取組】 1 小中合同による研修や行事の充実、交流授業の推進	○ 職員・生徒・保護者アンケートで充実度6割以上。 生 徒：92.9% 保護者：85.7% 教 師：100%	○ 連携型小中一貫教育を推進し、視野に、小中合同の研修や行事の、小学校への乗り入れ授業を実施する。	3	4	○ 小中合同の研修や部会を計画的に行い9年間の指導事項を小中職員が共通理解し、日々実践していく体制をつくる。 ○ 複式解消のための乗り入れを継続していく。 ○ 島への貢献活動を継続していき、地域人材の活用を積極的に図る。
	2 学校の情報の地域への発信と開かれた学校の推進～「土曜授業」の活用と「島への貢献活動」	○ 職員・生徒・保護者アンケートで充実度6割以上。 生 徒：92.3% 保護者：100% 教 師：100%	○ 地域の人材を活用した行事や体験的な学習を行う。 ○ 学校だよりやホームページの更新を行う。	4		評議員意見 ○ 合同行事や神社大祭など小中連携は十分にしていると感じる。

次年度の方 向性につい ての校長 所見	少子化にともなう学校行事などの精選や内容の見直しをすすめ、少人数のよさを活かした教育活動への転換を図りたい。
------------------------------	--